

第5学年 算数科学習指導案（例）

日時 令和〇年〇月〇日（〇）第〇校時

学級 5年〇組（男子〇〇名、女子〇〇名）

授業者 〇〇 〇〇

- 1 題材名 「プログラムを使って正多角形をかこう」
- 2 ねらい プログラムを使って正多角形をかくことにより、正多角形の性質についての理解を深めるとともに、プログラムを使うと、速く正確に繰り返しができ、辺の数が多い正多角形もプログラムの一部を変えることで簡単に書くことができることに気づく。
- 3 本時の展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	評価
導入 5分	<p>1 前時の学習を振り返る 正多角形の性質を確認しましょう。 WSを使って、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 辺の長さが等しい ・ 内角の大きさが等しいことを確認する。 <p>2 正多角形の性質を使って、作図しましょう。</p> <p>3 学習課題を確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「辺の長さがすべて等しく、角の大きさも全て等しい」という正多角形の性質をもとに、プログラムで正多角形をかこう</p> </div>	<p>円を使って正多角形をかいてみせる</p> <p>辺の数が多くなると、かくのに時間がかかったり、正確にかくのが難しくなったりすることを確認する。</p>	
展開	<p>4 Scratch を起動する。</p> <p>5 基本の命令を使いながら線をひかせる</p> <p>6 正方形をかいてみる</p> <p>7 繰り返しを使ってみる</p> <p>8 いろいろな正多角形をかいてみよう</p>	<p>オフライン（インストール）版の場合は、所定のファイルから起動できる。</p>	
終末	<p>9 自分のかいた正多角形を紹介する</p> <p>10 まとめ</p>		